

北海道大学教職員組合

【電話】011-746-0967 (FAX 兼用)

内線：2083、3994

HP：https://hokudai-shokuso.sakura.ne.jp/

メール：kumiai@hokudai-shokus.sakura.ne.jp



2025年度定期大会が実施されました

北海道大学教職員組合の2025年度定期大会が7月26日(土)14時より農学部会場とオンラインで実施され、全ての議案が可決されました。ご参加いただいた代議員の皆様等と大会にご協力いただいたすべての組合員の皆様におかれましては、ご協力どうもありがとうございました。



定期大会終了後は懇親会も実施！

大会終了後、今年は赤レンガ道庁付近にある「生ソーセージバル LECKER (レッカー)」で懇親会を行いました。新規加入いただいた組合員にも参加いただき、飲み放題プランで北海道大学の様々な部局の話で大いに盛り上がりました。また執行部としては4月頃から準備を進めていた定期大会が無事終了したという安堵感をつくづく感じる一杯でした。



北大総長選挙に3名が立候補！

～ 現職に新人2名が挑戦 / 組合は今回も公開質問を行う予定～

かねてから公示されていた北海道大学の次期総長選挙について、2025年8月1日(金)に立候補者が公示され、下記の3名が立候補したことが判明しました。

北海道大学が総長の再任を認める規程変更をしたことから、現職の再立候補は予想できていましたが、今回も前回に引き続き3名もの立候補者が戦う形となったのはやや意外でした。北大職組では今回も、立候補者に対して労働環境等に関する公開質問を送り、どのような北大のビジョンを描いているのかを候補者に問う予定です。



阿部 弘
北海道大学特任教授(副理事)



長谷山 美紀
北海道大学教授(副学長)



寶金 清博
北海道大学総長

(立候補者の画像は全て北海道大学ホームページ又は候補者応援サイトから引用しました。)

今年も人事院勧告で賃上げ勧告

～ 昨年度以上の賃上げ勧告 / 通勤手当も改善が勧告される ～

国家公務員の給与水準について人事院が勧告を行う「人事院勧告」が今年度は8月7日に発表され、民間企業との格差を埋めるために月例給で3.62%（一人当たり平均15,014円）、夏と冬の期末勤労手当で0.05月分（4.60月分から4.65月分に増加）の賃上げが勧告されました。月例給で3%を越える賃上げ勧告は1991年以来、実に34年ぶりとのこと。

また人事院勧告全体の仕組みについても今回は大きな変化が起きました。従来、国家公務員と比べる民間企業は「従業員50人以上」を対象としてきましたが、これが「従業員100人以上」となりました（なお正確には、2006年に「従業員100人以上」から「従業員50人以上」に下げたので、これを19年ぶりに戻した訳です）。一般に給与は人数の多い大企業程高いので、この変更によって今後人事院勧告が「適切」とする給与水準そのものが高くなりますので、この基準の変更は労働組合としては基本的に歓迎すべきものです。

ただ、いくら人事院勧告で賃上げが勧告されても、それが北大で実施されなくては意味がありません。このことについて、北大は昨年度に法人化して初めて、人勧の賃上げ勧告をその年度に実施しませんでした。結局2025年4月から実施したものの、旧帝大でありながら人勧通りに人件費増を実施できない国立大学として報道されるなど、悪い意味で注目を集めてしまいました。昨年度の教訓から、組合では今年度の賃上げ要求は早い時期から行う必要があると考えています。

また今回の人事院勧告では通勤手当の改善勧告がなされました。この改善は特にマイカー勤務が多い地方勤務者からの強い要望に答えるものとなりました。ただし、改定後の金額で通勤に係る費用全額が本当にやりくりできるのかがまだ不明なため、引き続きの検証が必要となります。

2024年度総長会見報告

7月24日15時より本部にて2024年度の総長会見が開催されました。総長会見は本来、新たに選出された組合新執行部が総長と自由な意見交換を行う場ですが、諸般の事情により、今回は組合大会直前というタイミングでの開催となってしまいました。

組合からは申し入れ時に複数のテーマを提示しましたが、申し入れから実施まで半年近くを要し情勢も変化したため、それにとらわれず、令和6年度・7年度の人事院勧告への対応や国際卓越研究大学への対応、非常勤職員の雇い止め、ハラスメント問題、組合書記局の建屋建替問題などを議論しました。執行委員長からは、特に令和6年度人勧不実施による賃上げ見送りや依然として続く雇い止めによる深刻な影響、ハラスメント対応では総長がリーダーシップをとるべき点を強調しました。無論、総長と組合とでは一致しない見解もありましたが、一部の案件では組合と同じ問題意識を共有していることを確認できたのは意味があります。

東大などで話題となった学費値上げについては、総長は北大でこれまで組織的に学費値上げを検討したことはないと言いました。現在、ほとんどの学生が自治会などで組織されておらず、どのように学生一般の意見を聴取すればよいのか模索しているとの指摘もありました。

もともと30分間の予定でしたが、意見交換は盛り上がり、会見は1時間近くまで延長されました。次年度は、総長選が予定されていることもあり、開催時期は検討していきます。



清水池委員長と實金総長